

# 子育て王国そらじや

## ファミリーサポートセンター



保育サービスの講習を受けた提供会員が1対1で預かる



チュッピー子育て  
ほっとメール

kosodate@city.soja.okayama.jp

子育ての相談をしたくても時間がとれない人、窓口で相談しにくい人の悩みに、チュッピーと職員・保健師が答えます。

ファミリーサポートセンターは、子育ての手助けが必要な人（利用会員）と援助できる人（提供会員）がお互いに助け合うシステムで、サポートが必要なきに有料で利用できます。対象年齢は0歳から高校生まで。初めて利用する場合は、事前に入会手続きが必要です。入会手続きや利用料金は、お問い合わせください。

- ▼一時サポート  
希望する時間や場所で子どもを預かります。自宅に訪問して子育てのサポートも行います
- ▼病児サポート  
子どもが病気の際に、サポートドクターや協力医院と連携して預かります。事前にご相談ください
- ▼同行サポート  
習い事などへの送迎をします  
申込先・問い合わせ NPO 法人保育サポート「あい・あい」(☎5665、総社ふれあいセンター内)

## 学校給食 おすすめレシピ



- 材料（4人分）**  
 ●イカ…40g ●アスパラガス…60g ●キャベツ…80g  
 ●ニンジン…20g  
 ●調味料…砂糖=小さじ1 しょうゆ=小さじ2  
 酢=小さじ1 オリーブオイル=小さじ1  
 レモン果汁=小さじ2分の1
- 作り方**  
 ①イカはゆでて冷まし、食べやすい大きさに切る。  
 ②アスパラガスは1.5cm幅に切り塩ゆでて、キャベツは短冊切りに、ニンジンは千切りにしてさっとゆでて冷ます。  
 ③①と②を調味料であえる。
- その他の献立** チキンライス、鮭フライ、いちごゼリー、牛乳

インタビュー Interview

知らないことを知れるのが  
新聞づくりの楽しさ

輝いている人



第10回おかやま新聞コンクール新聞づくり小学校高学年の部で、山陽新聞社長賞を受賞したのが、富永佳鈴さん（総社東小）だ。4704点の応募作品の中から最優秀賞に選ばれた。受賞作品は、『空き家対策新聞』。「近所に空き家があることを知り、なぜ誰もいない家があるのか疑問に思った」ことから、このテーマを選んだ富永さん。身近な問題を取り上げ、市内の戸数や自治体の対策を調査し、自分の考えをまとめたことが評価された。

富永さんはこれまでも、一昨年に最優秀賞、昨年優秀賞を受賞。3度目の応募となった今年は、見出しや段組みなどの新聞らしいデザインにこだわった。同級生に行ったアンケートの結果や4コマ漫画、豆知識なども掲載し、読みやすさや追及した。

空き家をリフォームして店を開いた人や市職員への取材も実施。建物の老朽化や地域のイメージ・治安低下といったデメリットだけでなく、改修すれば新築よりも費用を抑えられるというメリットも分かり、記事に盛り込んだ。「読んだ人が空き家の魅力や怖さを知り、減らそうと思ってくれたらうれしい」と話す。

新聞づくりの楽しさを尋ねると、「知らないことを知れて、生活に役立てたり人に教えたりできること」と答えてくれた。また最近では、気になる新聞記事には目を通すようになったという。作り手としての経験が増えるにつれ、社会への関心も高まってきているようだ。今後とも新聞を通して思考力を養い、世の中に貢献する人になってくれるだろう。

第10回おかやま新聞コンクール新聞づくりの部で最優秀賞である山陽新聞社長賞を受賞した

富永 佳鈴さん（北溝手）

このコーナーでは、輝いている人を募集しています。あなたの周りにキラッと輝いている人がいたら、広報そらじや編集室（市政情報課）までご一報ください。自薦・他薦は問いません。